

### 1 事業総括

綾瀬荘は、建替え工事のため事業を休止していたが、平成29年6月に受託、7月より利用者の受け入れを開始した。受け入れ前の6月に、行政及び地域の方々を対象に内覧会を開催し、運営についての説明や施設内及び居室の見学を行った。7月当初の入所は少なかったが、DV世帯の入所など緊急入所に即応し順調に入所世帯が増えていき、年度末の在籍は24世帯38名となった。

退所については、個々の課題に沿ってできるだけだけの支援を行い、住宅相談を活用するなど順調に期限内のアパート転宅等ができた。また、使用料の期限内納付について入所時に充分説明し、毎月遅滞なく使用料を納入してもらい、滞納・未納世帯が1件もなかった。

DVやストーカーからの避難を理由とした入所が多かったが、オートロックや防犯カメラによる不審者の侵入防止の徹底に努め、安全安心な生活環境を提供した。

また、旧綾瀬荘から良好な関係を維持してきた地域の自治会に施設・利用者ともに会費を納入し、地域の一員であることを利用者に理解してもらった。年度途中の開設だったため、町会の行事参加はあまりできなかったが、30年度は積極的に協力し良好な関係を強化していく。

#### 〔利用実績〕

	年度 累計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入所世帯数	62	-	-	0	5	8	9	10	3	8	2	5	12
退所世帯数	38	-	-	0	0	1	2	4	6	8	7	6	4
月末在籍世帯数	平均 18	-	-	0	5	12	19	25	22	22	17	16	24
28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 〔退所理由〕

(単位：世帯)

	自活	転居	居宅移管	入院除籍	移管 福祉施設	任意退所	無断退所	命令退所	等同居 帰郷・親族	拘留除籍	死亡	その他	合計
29年度	1	7	23	0	4	0	1	0	2	0	0	0	38
28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 2 主要目標に対する成果

#### (1) 利用者への安心・安全な暮らしの提供

毎日の安否確認やオートロック・防犯カメラなどの防犯体制により、安心・安全な住環境を提供した。

#### (2) 「地域で暮らす」を前提とした地域移行支援

地域の自治会への加入により地域の一員としての自覚を持ち、緊急一時保護入所世帯がほとんど地域生活へ移行できた。また、行政や学校等関係機関とも連携し、社会資源の提供をするなど地域生活を見据えた支援を行った。

#### (3) 包括的施設支援事業等を活用した利用者サービスの充実化

バックアップセンターの住宅相談・緊急一時保育事業・法律相談・心理相談などを活用し、個々のニーズに沿った支援を行い自立促進・転出促進ができた。

#### (4) 福祉事務所・バックアップセンターのニーズに即応できる体制の構築

居室全室にエアコン・冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ等の家電や、鍋・包丁等の調理用具・食器類を備え、退所後も居室清掃を迅速に行い、当日入所にも即応した。

#### (5) 年間入所目標 126 世帯

年間入所目標が高く達成できず、入所累計 62 世帯となった。

### 3 運営管理

#### (1) 日常の援助

- ・入所後迅速にアセスメントを行い利用者の個々の課題やニーズの把握に努めた。
- ・警察・学校等関係機関と連携し、安心安全な環境を提供した。
- ・住宅相談(利用 26 世帯)や緊急一時保育等専門相談事業(利用延 14 件)を活用し、緊急入所全世帯が目的内の退所ができた。

#### (2) 自立促進・転出促進

- ・都営住宅の一般募集の周知と特別割当の申し込みを促し、1 世帯入居が決定した。
- ・東京ジョブステーションと連携し、就労に関する相談、求人情報の提供を行い、利用者の就職につなげた。

#### (3) 諸行事

- ・利用者懇談会を 3 回開催し、利用者との情報交換や意見交換を行った。
- ・季節行事として、ハロウィン・クリスマス会・ひなまつりを実施し、季節感を味わってもらった。
- ・緑化園芸活動でじゃがいもを植え、利用者とともに収穫し味も好評だった。

#### (4) 消防・防災等

- ・消防計画・BCP を策定し、自衛消防訓練を 2 回、防災訓練を 1 回実施し、防災意識を高めた。
- ・消防設備点検を 2 回行い、消防署の立ち入り検査にも対応し、問題がなかった。

#### (5) 防犯対策

- ・オートロックや防犯カメラにより不審者の侵入対策の徹底を図った。

#### (6) 職員会議等

- ・管理人との引継ぎや朝の職員打ち合わせを毎日行い、利用者の状況を共有し緊急時に備えた。
- ・職員会議を 4 回実施し、情報共有・ケース検討を行い目的達成率の向上を推進した。

#### (7) その他

- ・苦情受付のしくみを活用し、利用者の意見等に対応し解決することができた。

### 4 保健衛生・環境整備

- ・毎月の防虫トラップ確認、交換により害虫発生防止対策を行った。
- ・定期的に水質検査や残留塩素の検査を実施した。
- ・退所後の迅速な居室清掃や共用部の日常清掃により、施設内の衛生・清潔保持を図った。
- ・施設敷地内の除草や花壇の手入れを行い、緑化・美化を推進した。また、植栽の不備について日常的に点検し、委託元へ報告するなど対策を講じた。
- ・保健栄養相談(利用 37 世帯)やバックアップセンター発行の「けんこう通信」を活用し、健康管理や感染症・食中毒防止の啓発を行った。

### 5 施設の社会化(地域交流事業など)

- ・火災や震災時に協力体制がとれるよう、町会や近隣の障害者施設と連携した。
- ・学区となる小学校や区学務課・子ども家庭支援センターと連携し、入所児童が迅速に就学できるよう支援した。
- ・地域の自治会に施設及び利用者が加入し、地域行事に参加・協力できるよう、良好な関係を構築した。
- ・施設パンフレットを作成し、開設時の内覧会や福祉事務所等関係機関への情報提供として活用し、施設利用を促進した。

### 6 福祉サービス第三者評価 評価結果

評価機関： 実施期間：

→ 29 年度は実施なし。30 年度受審予定

施設コメント：